

教科(科目)	家庭(家庭総合)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年必修
使用教科書	教育図書 「ウェルビーイングにつなぐ家庭総合」				
副教材等	教育図書 「ウェルビーイングにつなぐ家庭総合 マスターノート」 教育図書 「家庭科資料集 LIFE おとなガイドデジタル+」				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までに次の資質・能力を育成します。</p> <p>① 自己を知り、他者を尊重する思いやりの心を育成します。</p> <p>② 自らの進路目標を持ち、その実現に向けて努力する姿勢を育成します。</p> <p>③ 自己の住む地域を知り、地域に貢献し、リーダーとなり得る能力を育成します。</p> <p>④ 自ら学び、自ら考え判断し行動できる力を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行います。</p> <p>① 人権教育、同和教育を計画的に、教科横断的に実施するとともに、日頃からグループ学習などで生徒同士の関わりを大切にします。</p> <p>② 多様な進路希望を実現するため、基礎学力の定着やキャリア教育の充実を図り、生徒が主体的に学ぶ進路学習に取り組みます。</p> <p>③ 地域と連携しながら、ひと・文化・産業などについて深く学び、他者と協働し発展的な思考を育てる活動を行います。</p> <p>④ 「わかる授業」の実践に努め、生徒の学習意欲向上と主体的・対話的で深い学びの実践活動を行います。</p>

2 学習目標

<p>生活の営みに係る考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、男女が協力して主体的に家庭や地域生活を創出する能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣生活などについて生活を主体的に営むための必要な基礎的な理解を図るとともに、それに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、実践を評価・改善するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養うようにする。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>

3 指導の重点

<p>進学・就職等希望進路が様々であることから</p> <p>① 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住などについて生活を主体的に営むために必要な理解をはかるとともに、それにかかる技能を身に付けることを目指します。</p> <p>② 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養います。</p> <p>③ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養います。</p>

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身に付けている。</p>	<p>・生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>・家族、家庭と社会との関わりに関心を持ち、男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>・未来の保育者、介護者、高齢者として自分事として学習に取り組もうとしている。</p> <p>・被服製作実習に意欲的に取り組もうとしている。</p>

5 評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の分析 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の分析 ・レポートやワークシートなどの内容の確認 ・製作物の完成度、取組状況 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の から進んで学習内容と関わろうとする姿が見ら れるかの確認 ・振り返りシートの記述から、問題解決がよりよ いものとなるように改善・修正しようとする姿 が見られるか分析 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	Introductory 生涯の生活設計1	自分の将来をイメージしよう！	・各ライフステージの特徴と課題と、私たちは生涯発達し続ける存在であることを理解する ・これから起こるライフイベントを想定し、目標をたて、そのための意思決定について考える	6	課題プリント、提出物の内容の確認 ・課題の提出状況 ・授業の取り組み
5	A編第1章 青年期の自立と家族・家庭	自立への一歩を踏み出そう 家族・家庭って何？ 将来の自分と家庭を想像する	・自分や他者の性を尊重することの大切さを理解する ・社会の変化に伴う家族・家庭の変化について理解する ・男女共同参画社会について知り、実現のためにできることを自分なりに考える	3	課題プリント、提出物の内容の確認 ・課題の提出状況 ・授業の取り組み
	定期考査			1	
6	A編第2章 子どもの生活と保育	子どもはどう生まれ育つ？ 子どもとどうかかわろう？ 子育て社会の課題とは？	・子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を知り、子どもにとってよい環境について考えて自分なりの意見をもつ ・親の役割や愛情の大切さ、生命の尊さ、子どもを産み育てる意義を学ぶ ・子どもの権利や福祉について理解する	9	課題プリント、提出物の内容の確認 ・課題の提出状況 ・授業の取り組み
7	定期考査			1	
	子どもの遊び	伝承遊び	折り紙による基礎的表現技術を学ぶ	2	課題への取り組み
	ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動	ホームプロジェクト に取り組もう	・自分自身の家庭生活を見直し、課題を設定し、解決を目指して計画を立て、実践し、評価する ・学校家庭クラブの活動について理解する	2	課題プリントの内容の確認 ・課題の提出状況
8	B編第2章衣生活と健康	衣服の役割ってなんだろう	・衣服の主な機能について理解し、生活に生かすことができる	9	課題プリント、提出物の内容の確認
9					

10			<ul style="list-style-type: none"> ・衣服素材の種類や特徴、性能、着心地や構成について理解する ・衣服の表示について理解し、日常生活の中での活用について考える 		<ul style="list-style-type: none"> ・課題の提出状況 ・授業の取り組み
	定期考査			1	
11	B編第2章衣生活と健康	衣服はどうやってつくられている？ 被服製作	基本的な衣服生活の技術を身につけ、エプロンを製作する	10	<ul style="list-style-type: none"> 課題プリント、提出物の内容の確認 ・作品の提出状況 ・課題への取り組み
12	B編第2章衣生活と健康	衣服の計画・管理を知ろう 今後の衣生活を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の手入れ、管理の必要性やその方法について理解する ・私たちの衣生活が環境に与える影響を考え、持続可能な衣生活について考える 	6	<ul style="list-style-type: none"> 課題プリント、提出物の内容の確認 ・課題の提出状況 ・授業の取り組み
1	A編第3章高齢期の生活と福祉	高齢期ってどういう時期？ 高齢化する日本を生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢期の心身の特徴を知り、高齢期に多い疾病について理解する ・我が国の高齢化の特徴を知り、高齢者福祉の現状と課題について理解する ・高齢者を支える社会保障制度のしくみや他国の現状を知り、自分なりに考えを深める 	9	<ul style="list-style-type: none"> 課題プリント、提出物の内容の確認 ・課題の提出状況 ・授業の取り組み
	定期考査			1	
	高齢者実習	体験、介助実習	日常的な介助技術の基本と実践する際の心構えを身に付ける	4	・実習への取り組み

計64時間 (55分授業)

7 課題・提出物等

- ・授業プリントは学習活動の記録として大切です。また課題への取り組みやプリントの記入内容も重視します。
- ・実習については毎時間の取り組み状況と作品の完成度を重視します。
- ・すべての提出物は、最後まで丁寧に取り組み、提出期限を守って提出してください。

8 担当者からの一言

「家庭総合」は、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目的にしています。自分の生活を振り返り、よりよい生活が営めるように、自立に向けた学習になるよう、主体的に取り組ましましょう。